

栃木県知事 福田 富一 様

2013年4月26日  
日本共産党栃木県委員会  
委員長 小林 年 治

## 「主権回復の日」式典に出席しないよう求める申し入れ

安倍内閣は、4月28日に、政府主催で「主権回復の日」式典を開催することを決定し、都道府県知事に出席を求めています。

サンフランシスコ平和条約が発効した日を「主権回復の日」として式典を開くことに、国民のなかから広く批判の声がおこっており、とくに沖縄県では、4月28日は、平和条約により日本から切り離され米国の施政下に置かれた「屈辱の日」とされ、政府式典にたいする反対の県議会決議が超党派で採択されました。また大規模な抗議集会も予定されているとのことです。

日本共産党は、3月14日発表の志位和夫委員長の声明で、1952年4月28日に発効したサンフランシスコ平和条約と日米安保条約によって、日本は形式的には独立国となったものの、実質的にはアメリカへの従属国の地位に縛り付けられたというのが、歴史の真実であることを指摘しました。そして沖縄・奄美・小笠原が米国の施政権に置かれ、千島列島を放棄した日を、肯定的に記念する政府主催の式典の中止を強く求めてきました。

報道によると、全国47都道府県のうち、知事本人が出席を決めているのは、わずか19都県にとどまっており、この事実を見ても、式典開催の是非について、国民的合意が存在していないことは明らかです。その式典に福田富一知事が出席することは絶対に容認できません。

については、日本共産党栃木県委員会として、次のとおり申し入れます。

### 記

一、「主権回復の日」式典への知事の出席をとりやめること。

以上